

# ASAHIMACHI

Public Relations

◎ 広報 あさひまち

2020  
**12**

No.769

手作りリースで  
ハッピークリスマス!





▲左から199万9999人目の来場者である小出穂ご夫妻（白鷹町）、200万人目の五十嵐みなみさん（仙台市）、200万1人目の小出洋子さん（千葉県四街道市）。



▲りんごの森が最もにぎわうこの時期。連日多くの方が訪れています（写真は11月22日撮影）

## 道の駅あさひまち「りんごの森」 来場者200万人突破！

11月30日、道の駅あさひまち「りんごの森」の来場者が200万人を突破しました。

記念すべき200万人目のお客さまは、仙台市からお越しの五十嵐みなみさん。五十嵐さんには鈴木浩幸町長から来場200万人達成記念証と、記念品としてリンゴやラ・フランスの詰め合わせなど町の特産品が贈られました。

朝日町には、県内に住んでいた祖父母のところに遊びに来たとき以来約20年ぶりという五十嵐さん。突然のことに驚きながら「幼稚園児のとき以来の朝日町で、りんご温泉に入った帰りに寄った道の駅で、このような記念すべきタイミングのお客さんになるなんて嬉しく思います。いただいたリンゴは家族や仕事場のみんなとおい

しくいただきたいと思っております」と笑顔で喜びを語ってくれました。

この成果を受けて加藤拓生駅長は、「道の駅あさひまちは、平成27年10月1日にオープンし、今年10月には6年目に入りました。これほど多くの方に来場していただけたのは、特産のリンゴを始めとした高品質の商品を納品して下さる生産者の皆さん、そして日頃からご理解とご協力をいただいている町民の皆さんのおかげです」と感謝を述べるとともに、「今後も300万人400万人達成と明るい話題をお伝えできるよう1日1日の営業を大切にしていきたい」と意気込みを語っていました。

▶問合せ先 総合産業課 商工観光係 ☎67-2113/道の駅あさひまち りんごの森 ☎85-0623

## 目次 ◎ CONTENTS

- P2** 町長歳時記
- P3** Pick Up News  
道の駅あさひまち「りんごの森」来場者200万人突破！
- P4** 町を支える土木のしごと
- P10** 町政スポット  
・鈴木町政5期目がスタート  
・除雪隊辞令交付式  
・朝日町自治功労者等表彰式 ほか
- P12** まちレポ  
・あさひ国際交流推進フォーラム  
・焼き芋&秋葉山探検  
・第40回朝日町りんご品評会  
・たむしば第15号発行 ほか
- P14** 各種スポーツ大会 文化コンクール等の入賞結果
- P16** 住人十色
- P17** それいけ協力隊とウサビ、町立図書館コーナー
- P18** 健康あさひるばんざい、朝日町エコミュージアムサテライト散策
- P19** 戸籍のまど、となりのりんごさん、金婚賀詞伝達式
- P20** 末吉良ベース WINTER FESTA

### 表紙の写真



12月2日、秋葉山交遊館で北部公民館事業「毛糸玉で可愛いクリスマスリースをつくってみよう」が行われ、10人が参加しました。遠藤あかねさん（真中）が講師となり、毛糸玉の作り方を指導。その後、自分で作った毛糸玉やリボン、松ぼっくりなど様々なものをリースの土台に飾り付け、自分だけのリースが完成しました。

### 町長歳時記 (170)

#### 「節目」を表す

#### ～気持ちを奮い立たせるもの～

12月8日朝、役場玄関に到着すると、副町長はじめ多くの職員の方々から出迎えを受けました。玄関先で花束を受け取り、職員の皆さんの顔を目にした時、16年前の状況が甦り胸に熱く込み上げて来るものを感じました。階段を上り2階町長室までの道のりが妙に長く感じられ、まるで静止画面を見るように職員一人ひとりの笑顔が幾重にも重なり、「そうだ。私はこの職員の皆さんに支えられてきたんだ」という思いが込み上げてきました。

また一日だけの選挙戦で町内を巡った道々、スピーカーの連呼に、あわてて家の中から走り出て一生懸命両手を振ってくれたお母さん。そして、遙か遠くの畑から身を乗り出し身体全体で大きく手を振る人々の姿が目には浮かび上がり、「ああ、私はなんと多くの町民の皆さんから支えられてきたんだろう」と、4期16年の思いが溢れだし、思わず感極まり、心の底から感謝の気持ちで一杯になりました。それと同時に「また新たな時代の始まりだ。がんばるぞ」というやる気が満ちてくるのを実感することができました。

当日の朝、普段通りの気持ちで家を出た私は、役場に到着した瞬間、感慨深い気持ちで町長5期目の第一歩をスタートさせることとなりました。

人間、何事においても「節目」は重要です。時の流れに乗って淡々と進んでいくというのも一つのあり方ですが、一方、流れる「時」にメリハリをつけ気持ちを奮い立たせて、その時々課題に向かって果敢に挑戦していく姿勢も大変重要なことでもあります。

時あたかも全世界がコロナ禍の真ただ中にあります。この難局に真正面から取り組み、果敢に挑戦していく。それが町長5期目就任という大きな「節目」を迎えた私の使命であると考えます。

朝日町長 鈴木浩幸

**災害時の地域の守り手**  
 近年地球規模で自然災害が多発しており、それは朝日町でも例外ではありません。昨年の台風被害、今年7月の豪雨災害など立て続けに災害に見舞われています。そうした災害時に迅速に対応してくれているのが建設業の方々です。下記では7月の豪雨災害の町道や県道の復旧工事について掲載していますが、農地や農道も多く被害を受けており、その復旧工事も建設業の方が対応しています。

**土木の仕事って？**  
 土木工事は主に道路や水道などのインフラ（※）を整備する仕事で、まさに町を支える土台作りをする仕事と言えます。  
 ※インフラストラクチャーの略称。「基盤」や「下部構造」「下支える物」といった意味で、「社会基盤」の意味で使われることが多い。  
**「土木」と「建築」の違いは？**  
 土木と建築は密接な関係がありますが、簡単に説明すると、「土木」は前段の「社会性を持つ公的な物が多く」「建築」は家屋やビルといった建物、主に個人や企業といった私的なものを多く扱っています。建築工事と土木工事を営むことを建設業といいます。



今年7月の豪雨災害で道路が崩壊した  
 県道白滝宮宿線（7月29日時点）

**補修に対応した阿部さんのお話**

道路管理者の県からは大型土のうを使用するよう指導されましたが、それでは増水した場合土のうが浮く恐れがあり工法に悩みました。最終的には県からの承認を得て、水を通す袋詰め玉石を埋めての工事となりました。また、石の原材料を取り扱う会社が被害に遭ってしまい、石を確保するのも大変でした。



阿部 一幸 さん  
 (村山建設株式会社)

**仮補修後**



**白倉区長さんのお話**  
 今回の災害にあたっては集落の孤立がなにより心配でした。白倉は高齢者ばかりで避難も難しく完全に通行止めとならず良かったです。こういった災害時には建設業の方々の力が無くては復旧は成り立たないので、感謝しております。



阿部 馨 さん  
 (白倉)



- 7月28日の豪雨災害についての主な通行止め解除日付**
- 7月29日解除
    - ① 町道猿田線
    - ② 町道前田沢下言沢線
    - ③ 県道白滝宮宿線
    - (スノーシエッド付近)
  - 30日解除
    - ④ 町道一本松線
    - ⑤ 町道大暮山線
    - ⑥ 町道雲谷線
    - ⑦ 町道笹子平線
    - ⑧ 町道釜山線
    - ⑨ 県道長井大江線 (川通り〜能中)
    - ⑩ 県道長井大江線 (能中〜西船渡)
  - 31日解除
    - ⑪ 町道柏原線
    - ⑫ 県道白滝宮宿線
  - 8月1日解除 (片側通行)
    - ⑬ 県道山形朝日線

特集 町を支える**土木**のしごと

道路や橋、上下水道など私たちが生活する上で必要不可欠なインフラに携わる土木事業。自然災害の復旧工事など公益性の高い業務も多く、まちの土台づくりを行う仕事ともいえます。その一方、土木作業を担う建設業は休日

が少ないことや作業がきついというイメージがあり、就業者が減少し担い手不足が問題となっています。そこで、今月号では町を支える土木の必要性や魅力について迫ります。

# ここが魅力! 知ってほしい土木のしごと



宇津野沢堰堤工事

## スケールの大きさ

土木業の魅力はスケールの大きさですね。工事が始まってから完成まで複数年かかることも多く、時間、人、お金、どれも特別多く必要となります。

また、作業工程の奥深さもあります。コンクリート打設一つにしても傍から見ると毎日同じ仕事をしているようにみえますが、温度管理や養生などいろいろな考えるポイントがあります。単純なようで実は奥が深い仕事だと思います。



石山 昭彦 さん (村山建設株式会社)

## 社会を支えるということ

東日本大震災や今年7月の豪雨災害など近年災害が頻発していますが、そういった有事の際、現場に真っ先に入る仕事は土木業です。まさに地域のインフラの守りであり、誇りを持って仕事をしています。人口が減っている中で業界としても新しい道路や橋を作ることは難しくなっており、現在あるものを補修・整備して使っていかなければなりません。そうやって地域のインフラを守ることで社会を支えているのだと思います。



安孫子 凌 さん (株式会社清野組)



西町西原線歩道工事

## 地図に刻まれるしごと

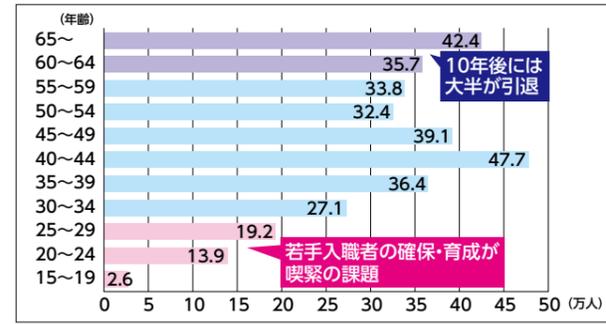
土木の仕事は道路や河川、橋といった後々まで残る「地図に刻まれるしごと」とも言われています。先日、橋台(左写真…この間を橋が通る)を作ったのですが、橋台のようになると見えなくなるところでも、利用者みなさんが安心して渡れる橋の下支えをする部分を作ったとして誇れる仕事ができました。建物のような分りやすいものだけでなく、こういった表に出ない部分を作ることも重要な仕事です。



畠田 善浩 さん (大東建設株式会社)



白滝宮宿線道路改良工事



▲今後ますます人手不足の深刻化が予想される  
出典:「建設業及び建設工事従事者の現状」(国土交通省)  
https://www.mlit.go.jp/common/001180947.pdf を加工して作成

担い手が不足している?  
国土交通省が発表した「建設産業の現状と課題」の中の「建設就業者の現状」では、建設就業者は平成9年の685万人をピークに減少を始め平成27年には500万人となりピーク時から3割近くが減少しています。

また、高齢化の進行も問題となってきました。近年は55歳以上の建設就業者の割合が年々増え、平成28年では約34%となっています。一方、29歳以下の割合は約11%にとどまり、次世代への技術継承が大きな課題となっています。

国や県による担い手確保対策  
今後の建設業を担う若年層や女性の入職を促進するため国や県は各種取組みを実施しています。

- ・週休2日確保工事
- ・統一土曜一斉閉所

建設業では令和6年4月1日から時間外労働の上限規制が適用され、週休2日制の導入が必要になり、導入に向け次の取組みが実施されています。週休2日確保工事では、工事の現場閉所状況(休日状況)によって経費をプラスすることで、また、統一土曜一斉閉所では県内の公共工事を一斉に休むことで休日確保を推進します。

- ・けんせつ女子ツアー&カフェ
- ・ICT活用工事

建設業の第一線で活躍している女性技術者と建設業に興味を持つ県内高等学校女子生徒等が集まり、仕事の魅力や職場環境等について、職場の見学や意見交換を行っています。

「ICT(情報通信技術)の全面的な活用」等の施策を建設現場に導入することで、生産性向上を図り、魅力ある職場環境を目指します。生産向上とともに働き方改革を推進することで、建設業の新3k(給料、休日、希望)の実現を図ります。



鈴木 幸喜 さん (大東建設株式会社)

## 事業所の方から

建設業に就く若い人の減少は深刻な問題となっています。新卒求人等も製造業希望者が多く建設業の方に向いてもらえないのが現状です。大きな「ものづくり」を通して地域に貢献する。それが建設業の仕事です。創るだけでなく、補修・改修、維持、管理なども含まれます。災害時の対応、冬の除雪作業等は大変な仕事ではありますが、地域の皆さんの暮らしを守り人の役に立つ重要な仕事です。もっと建設業の仕事について知ってもらい、若い人達にも興味を持ってもらえるようにしていきたいです。建設業は若い力を求めています。職場見学等も行ってください。興味のある方はお気軽にご参加ください。

また大東建設では昨年から若い担い手不足を補うため、町内では初の試みとなる外国人雇用としてベトナムからの技能実習生を迎えています。

## ベトナムからの技能実習生のみなさん



▲大東建設の社員の方と一緒にバーベキューを楽しむことも



リユーさん クオンさん バンさん ホックさん



ズオンさん テインさん アインさん

どの方も礼儀正しく、仕事も一生懸命です。休みの日には近所の農家さんのお手伝い等の交流もあり、地域のみなさんからも良くしていただいています。町内の皆様には暖かく見守っていただけたらと思います。

# 近年の町内土木事業成果



**町道三中線改良工事 (H 21 ~ R 2)**  
(施工: 村山建設株式会社)

常盤地区と長沼地区を結ぶ町道三中線。急こう配、幅員狭小だった道路を解消。平成 21 年度から足掛け 10 年以上の工事となりました。

長い期間の工事となりましたがようやくここまでできました。道路も広がってきれいになり安心できるようになりました。

長岡 謙一 さん (長沼)



**町道雪谷線改良工事 (H 27 ~ R 2)**  
(施工: 大東建設株式会社)

雪谷地区と助ノ巻地区を結ぶ町道雪谷線。これまで何度も冠水または冠水の危険があり、道路を嵩上げすることで冠水防止をしました。

昔から大雨が降ると唯一の町道が冠水してしまわないか不安でしたが、今回の工事ですれが解消されるということで安心していきます。

鈴木 義彦 さん (雪谷)



**地蔵橋改良工事 (H 29)**  
(施工: 有限会社阿部土建)

助ノ巻線のいぼ地蔵そばで西町地区方面に上がっていくところの橋。木製からコンクリート製になり、車も危なげなく通行可能となりました。

当時は小学生の通学路で、老朽化した木製の橋では滑ったりして危険でした。工事後は立派な橋となり安全となりました。

海野 武雄 さん (助ノ巻)



**町道峯壇線道路拡幅工事 (H 29)**  
(施工: 株式会社清野組)

消防団第 3 分団第一部のポンプ庫前 (大谷往來館そば) の曲がり角。幅員を広げ、樹木も撤去することでより安全な道路となりました。

これまでカーブも急ですれ違いも大変でしたが、道路が広く見通しもよくなり事故が未然に防げる環境となりました。

大谷 武一 さん (大谷第五)



# 若い人たちに伝えたい 土木のしごと



伊藤 航介 さん (助ノ巻)

大東建設株式会社



## Interview

高校卒業から建設業に就いて 5 年目、大東建設で働いています。建設業に入ったきっかけはこの業界で働いている父親。仕事の話をしているうちに興味を持ちました。実際に仕事を始めると厳しい世界だと感じることがありますが、自分のやったことが形として残るこの仕事にやりがいを感じています。

### ■建設業に興味を持っている方へ

私は建設業という仕事が一番かっこいいと思っています。やる気さえあれば大学や土木科の学校を出ていなくても大丈夫。先輩方が面倒を見てくれて仕事のスキルを身に付けることができます。



阿部 健 さん (四ノ沢)

有限会社阿部土建



## Interview

子どもからお年寄りまで幸せに過ごせるような公園を作るのが子どもの頃からの夢でこの仕事に就きました。建設業は現場のイメージがありますが、最近は測量したデータをパソコンに入力して図面を描いたりなど時代とともに仕事も変わってきています。自分で図面を描いたものが形になる事が、この仕事の魅力だと思います。

### ■建設業に興味を持っている方へ

機械が入れないところは手作業ですし、夏の暑さや冬の寒さはもちろん大変ですが、工場勤務やデスクワークでは味わえない喜びがこの仕事にはあります。災害の復旧作業などで世のため人のために働ける仕事です。



## 朝日町自治功労者等表彰式

■総務課 総務係 ☎67-2111



退任区長のみなさん



アイジー工業株式会社の若尾直代表取締役社長 (中央)

町の振興発展に貢献された方々を表彰する自治功労者等表彰式が11月5日、創造館ホールで開催されました。今年3月末に退任された区長や平成5年から5回にわたり寄付採納していただいているアイジー工業株式会社に対し、鈴木町長から感謝状が贈呈されました。

## おはなし会ぶなの実が全国優良読書グループ表彰

■教育文化課 生涯学習係 ☎67-2118



表彰状を手に笑顔のぶなの実のみなさん

子どもたちが本と触れ合うきっかけをつくり、読書の大切さを伝えようと活動をしている「おはなし会ぶなの実（登坂ひかる代表）」が、公益社団法人読書推進運動協議会（野間省伸会長）から全国優良読書グループとして表彰を受けました。平成2年3月のグループ結成から現在まで、長きにわたって絵本の読み聞かせやパネルシアター、手作り人形を使った人形劇を開催。近年は「マリンバピアチエーレ（山形市）」の音楽と絵本のコンサートにも共演しています。

受賞を受けて代表の登坂さんは「これを励みにこれからも子どもたちのために楽しい活動を続けていきたい」と笑顔で語りました。

## 大竹史之さんが東北地区スポーツ推進委員功労者表彰

■教育文化課 生涯学習係 ☎67-2118



11月7日、第58回東北地区スポーツ推進委員研修会山形県大会が村山市で行われ、大竹史之さん（大隅）が表彰を受けました。大竹さんは平成6年に町体育指導員となってから約26年の永きにわたり、町民への生涯スポーツの普及や指導助言を通して町のスポーツ推進に大きく寄与されました。平成18年度には町体育指導員副会長、平成24年には町スポーツ推進委員会会長として、組織の充実と後進の育成に尽力されました。この度の表彰はその功績が認められたものです。

この度の表彰を受けて大竹さんは、「これほど長く続けてこられたのもみなさんのご協力のおかげです。今後も町民のスポーツ振興のために頑張っていきたい」と語っていました。

## 鈴木町政5期目がスタート 朝日町長選挙 鈴木浩幸氏が無投票で再選

■選挙管理委員会（総務課内） ☎67-2111



当選証書を授与される鈴木浩幸町長 (11月30日)

任期満了に伴う朝日町長選挙が11月24日に告示されました。現職の鈴木浩幸氏（大町）以外に立候補の届出はなく、4期連続となる無投票での再選が決定。11月30日に開発センターで当選証書付与式が行われ、町選挙管理委員会の白田和好委員長から当選証書が授与されました。

5期目初登壇となった12月8日には、課長会議の席上で全職員に向けた訓示として「職員の皆さんには、職務・業務を遂行する上で、様々な問題・課題が出てくると思うが、町民のために自分たちで出来る方策を考え、出来ないのではなく出来るよう創意工夫をもって取り組んでほしい」と語りました。



歓迎の花束を受け取る5期目初登壇の鈴木浩幸町長 (12月8日)

## 冬の雪道の安全安心を担う 除雪隊辞令交付式

■建設水道課 整備係 ☎67-2115



12月1日、開発センター集会所にて除雪オペレーター21人に辞令が交付されました。鈴木浩幸町長からは「まずはみなさん一人ひとりが健康で万全の体調をもって日々の職務にあたってもらい、町民のみなさんの安全安心のためにご尽力いただきたい」と挨拶。今年から運転長に任命された小野浩さん（大谷第三）は「冬期間の町民の足を守るためここにいる除雪運転技師21人が一丸となって事故のない除雪作業にあたる所存です」と決意を語っていました。その後、除雪基地に並べられた重機に向かって作業の無事を祈願しました。



今年度除雪計画の総延長は国県道含めて266.2キロ。その内町が除雪を行う町道分は179.7キロに及びます。除雪ドーザ16台、小型ロータリー除雪車5台、大型ロータリー1台、除雪グレーダー1台の計23台の除雪車のほかハンドガイド3台、融雪剤散布車1台、パトロール車2台、作業車2台を総動員し、雪道の安全のため積雪時には午前3時からの出動に備えます。



◀創刊号から15号まで全て町立図書館で借りて読むことができます

11/9  
書くことは二度生きること  
たむしば第15号発行

11月9日、芸文サークル「たむしば」（阿部良子会長／元町）の製本作業が創遊館で行われ、文芸誌たむしば第15号が発行されました。平成19年1月に創遊館で開催された文芸講座をきっかけに創立された「たむしば」。全て会員による手作りの冊子です。収録されているのは詩、俳句、川柳、エッセーなど様々。今回が最終号となりました。また、創刊号からこれまでの作品を個人毎にまとめた個人集も作成。世界でたった1冊の「わたしだけの文集」です。



▶劇を見て大笑いする子どもたち



11/13  
今年も保育園に人形劇がやってきた！  
「おはなし会ぶなの実」人形劇公演

「おはなし会ぶなの実（登坂ひかる代表／ハツ沼）」による人形劇公演が11月13日、あさひ保育園で行われました。これは毎年11月上旬に行われている行事で、未満児クラスと3～5歳児クラスの2回に分けて、手遊びや読み聞かせ、エプロンシアターなどを行いました。子どもたちに一番人気だったのは山形県に伝わる昔話を人形劇にした「赤いこん箱」でした。ぶなの実のみなさんが操る人形のコミカルな動きや声によって子どもたちは声をあげて喜び、笑顔の花咲く時間となりました。



▶発表後は外国人向けのおもてなしについて意見交流会を開催



11/7  
朝日町らしい国際交流について考える  
あさひ国際交流推進フォーラム

11月7日、あさひ国際交流推進フォーラムが創遊館で行われ、約40人が参加しました。中学生海外派遣事業の派遣生7人によるブリティッシュヒルズ（福島県）での活動報告が行われ、工夫を凝らしたユーモアあふれる発表により参加者からは笑いがこぼれていました。発表では、町に帰ってきた際の「日本語忘れた!」といった発言や翌日同級生に間違えて英語の挨拶をしてしまったというエピソードも。町では来年度以降も中学生海外派遣事業とともに同フォーラムの開催を予定しています。

11/8  
第5回ドキドキ探検隊  
焼き芋＆秋葉山探検

「ドキドキ探検隊達人倶楽部（鈴木直幸代表）」が企画・運営する北部公民館事業「焼き芋＆秋葉山探検」が11月8日、秋葉山の東屋周辺で行われ、北部地区の小学生8人が参加しました。子どもたちは火を起こしたところに新聞紙とアルミホイルでくるんだサツマイモとジャガイモを投げ入れ、焼きあがるのを待つ間に秋葉山を探検しました。秋葉山ではキノコを採ったり、熊のフンを発見したりと非日常を体験。お腹を空かしたところで焼き芋を堪能し、お腹も心も大満足の日となりました。



◀ほくほくのサツマイモをおいしくいただきました



11/19  
思いが詰まったリンゴで受験生を応援  
合格りんご贈呈式

11月19日、朝日中学校で合格りんご贈呈式が行われました。朝日中1年生が今年度受験を控えている3年生へ「合格」の2文字が入ったリンゴを手渡すこの行事。合格りんごは、毎年1年生が総合学習の授業の一環として栽培しているもので、これまで摘花・袋外しとシール貼り・収穫を体験してきました。コロナ禍の今年は1年生の代表者が各教室へ出向き3年生へ贈呈。思いが詰まったリンゴを受け取った3年生たちは、「この合格りんごを食べて全員が合格できるよう頑張ります」と応えました。



◀▲合格りんごと手書きの応援メッセージが贈られました



▶ホームページに写真



▶最優秀賞を始めとして素晴らしいリンゴが出揃いました



11/20  
今年の審査の様子はHPにて動画公開  
第40回朝日町りんご品評会

11月20日、和合地域交流センター「友和館」にて第40回朝日町りんご品評会が開催されました。例年、産業まつりとの同時開催でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により品評会単独での開催。今年は70点の無袋ふじが出品され、糖度や重量、外見や玉揃いなど様々な観点から審査されました。審査委員長である山形県村山総合支庁西村山農業普及課長岡正三普及推進主幹は「どのりんごも品質がよく選定に苦労しましたが、実が引き締まって美味しそうなものを選びました」と語りました。審査結果は下記のとおりです。

11/22  
屋外で楽しむ夜の映画館  
あさひドリームシアター

車に乗ったまま映画を鑑賞する「あさひドリームシアター」が11月22日、創遊館駐車場で開催され、約50台の車が集まりました。昭和45年度の日宮宿中学校の卒業生有志が集まった「朝日町を愛するテツ&マサシと仲間たち（渡辺淳代表／送橋）」が主催。創遊館の壁をスクリーンに「怪盗グループのミニオン危機一髪」を上映しました。渡辺代表は「コロナ禍の中でも、将来の町を担う子どもたちが笑顔で元気が出るように企画しました。家族と一緒に楽しく見ていただけたのかなと思います」と話していました。



▲主催の「朝日町を愛するテツ&マサシと仲間たち」のみなさん



▼第40回りんご品評会結果一覧（出品数70点）▼

最優秀賞	阿部 智彦 夏 草	銀 賞 (5点)	白田 憲彦 大谷第三 鈴木 孝幸 沼 向 鈴木 祥宏 大 隅 海野 清一 八ツ沼 堀 勇六 中 沢	努力賞 (10点)	阿部 友樹 常 盤 清野 文一 四ノ沢 菅井 伸昌 沼 向 成原 誠 新 宿
優秀賞	村山 茂雄 大谷第七		白田 富彦 大谷第三 堀 敏男 大谷第七		菅井 孝啓 沼 向 菅井 誠吾 沼 向
金賞一席	菅井源三郎 小 原		齊藤 利彦 夏 草 井澤 壽一 夏 草		菅井 俊美 小 原 菅井 聡 沼 向
金賞二席	村山 征一 大谷第七		長岡 秀昭 前田沢		遠藤 隆弘 栗木沢 菅井 英幸 沼 向
金賞三席	菅井 春彦 沼 向				

※銀賞・銅賞・努力賞については、出品番号順の掲載です。



内藤秀因記念第23回水彩画公募展  
【ロータリークラブ賞】  
朝日中1年 菊地舞



内藤秀因記念第23回水彩画公募展  
【教育委員会賞】  
大谷小6年 長岡花



山形県省エネポスターコンクール  
【グランプリ】  
朝日中3年 菅井来夢



第36回山形県児童生徒版画作品展  
【特選】(山形県造形教育連盟会長賞)  
宮宿小3年 阿部正宗



第80回全国教育美術展  
【特選】  
朝日中1年 梅津知樹



第12回山形県年金ポスターコンクール  
【最優秀賞】  
朝日中3年 海野花歩



税についての作文 (左から)  
【朝日町商工会賞】 朝日中3年 長岡明里  
【寒河江税務署賞】 朝日中3年 菅井来夢  
【公益社団法人寒河江法人会長賞】  
朝日中3年 大沼愛華



山形県新人体育大会決勝大会 (左から)  
【第3位】 柔道女子個人1年 菊地舞  
柔道女子個人1年 海野結菜

# 各種スポーツ大会 文化コンクール等の入賞結果

頑張った  
みんなに拍手!

- ◆山形県新人体育大会決勝大会  
【第3位】  
柔道女子個人1年 海野結菜  
柔道女子個人1年 菊地舞  
【ベスト16】  
剣道男子個人2年 遠藤新太  
剣道女子個人2年 東海林妃那子
- ◆山形県省エネポスター  
コンクール  
【グランプリ】  
朝日中3年 菅井来夢  
【省エネ特別賞】  
朝日中2年 峯田結羽
- ◆内藤秀因記念第23回水彩画  
公募展  
【教育委員会賞】  
大谷小6年 長岡花  
【ロータリークラブ賞】  
朝日中1年 菊地舞  
【優秀賞】  
朝日中2年 遠藤香春  
朝日中2年 渡辺陽人  
朝日中3年 海野花歩  
【入選】  
朝日中1年 阿部ひゆり  
朝日中2年 鈴木明空  
朝日中2年 阿部ななみ  
朝日中2年 海藤拓  
朝日中2年 熊谷美菜
- ◆第31回防犯広報ポスター  
コンクール (西村山地区)  
【優秀賞】  
朝日中2年 堀籠空  
朝日中3年 堀紗くら  
【佳作】  
朝日中2年 村山稟  
朝日中3年 佐竹明

- ◆税についての作文  
【寒河江税務署賞】  
朝日中3年 菅井来夢  
【朝日町商工会賞】  
朝日中3年 長岡明里  
【公益社団法人寒河江法人会長賞】  
朝日中3年 大沼愛華
- ◆障がい者週間のポスター  
【佳作】  
朝日中1年 井澤美里  
朝日中2年 東海林妃那子
- ◆土砂災害防止に関する絵画  
【優秀賞】  
朝日中1年 梅津知樹  
朝日中2年 渡辺陽人  
【佳作】  
朝日中1年 長岡柚希  
朝日中2年 清野絢音
- ◆建設業労働災害防止図画  
コンクール  
【入選】  
西五百川小1年 長岡希海  
西五百川小6年 阿部蒼空  
宮宿小5年 阿部秀之助
- ◆第12回山形県年金ポスター  
コンクール  
【最優秀賞】  
朝日中3年 海野花歩
- ◆第80回全国教育美術展  
【特選】  
朝日中1年 梅津知樹  
【入選】  
朝日中2年 成原結愛

- ◆村山地域おこし協力隊  
ポスターコンクール  
【優秀賞】  
宮宿小2年 阿部ゆめの
- ◆地球にやさしい朝日町標語  
【最優秀賞】  
大谷小3年 長岡遥  
【優秀賞】  
朝日中1年 井澤美里  
朝日中2年 鈴木明空  
西五百川小2年 内藤総吾  
西五百川小4年 大井涼太  
宮宿小3年 佐藤陽佑  
宮宿小6年 佐藤羽華  
大谷小3年 堀上総  
大谷小4年 佐久間陽愛  
一般 長岡藤夫(大谷第五)  
一般 鈴木光(松程)
- ◆地球にやさしい朝日町作文  
【最優秀賞】  
宮宿小6年 安藤鈴暖  
【優秀賞】  
朝日中3年 長岡優亜  
朝日中3年 渡邊紗代  
宮宿小4年 山賀柑奈  
宮宿小5年 熊合凌  
宮宿小5年 堀彰雅  
西五百川小6年 安藤望恵  
西五百川小6年 伊藤南海  
西五百川小6年 阿部琥太郎  
一般 阿部トシ子(松程)
- ◆第17回山形県未来の科学の  
夢絵画展  
【優秀賞】  
宮宿小3年 松田依知佳

- ◆第5回郷土Yamagata  
ふるさと探究コンテスト  
【ふるさと探究大賞】  
朝日中 第1学年自治会
- ◆第36回山形県児童生徒版画  
作品展  
【特選】(山形県造形教育連盟会長賞)  
宮宿小3年 阿部正宗  
【奨励賞】(中川木鈴奨励賞)  
朝日中2年 鈴木明空  
宮宿小2年 今井京太郎  
宮宿小3年 浅岡愛心  
【入選】  
朝日中2年 吉田瑞央  
朝日中2年 渡辺陽人  
朝日中2年 渡邊優  
朝日中2年 峯田結羽  
宮宿小2年 渡邊明真  
宮宿小2年 佐藤優季  
宮宿小3年 鈴木麻生  
宮宿小3年 堀愛翔  
宮宿小3年 鈴木凜  
宮宿小3年 松田依知佳  
宮宿小6年 石塚蓮  
宮宿小6年 海野真穂  
【佳作】  
宮宿小2年 浅岡琉  
宮宿小2年 川上蒼空  
宮宿小2年 海野友紀子  
宮宿小2年 佐藤環奈
- ◆第32回山形県防犯広報作品  
コンクール  
【優秀賞】  
大谷小5年 生亀とあ  
【優良賞】  
朝日中2年 堀籠空  
【佳作】  
大谷小6年 堀こ



# それいけ 協力隊 とらさび

町地域おこし協力隊と桃色ウサビの「中の人」こと、佐藤恒平情報交流総合アドバイザーによる連載コーナー。日々の活動や朝日町での暮らしを語ります。

10月に、常盤で僕が運営しているゲストハウス松本亭・農舎を大使館にしたい、という依頼が飛び込んできました。依頼主はなんと山形県。県内の若者の活躍や山形暮らしの魅力を発信することで、若者の活躍を応援する気運の醸成を図り、若者を呼び込む環境づくりを推進するための施策として「やまがた若者応援大使」を委嘱し、その拠点を大使館にするというものです。具体的な活動は2つで、SNS等を活用して地域の元気を創出している活動や山形暮らしの魅力についての情報を発信すること。若者が活躍できる環境づくりをしていくことです。

大使館はその拠点的な役割とし



▲吉村美栄子知事から「やまがた若者応援大使」の委嘱状を受け取る佐藤恒平さん

## 「松本亭が大使館になりました」

情報交流総合アドバイザー 佐藤恒平 (福島県出身)

て、気軽に相談できたり、集まって会議したりできる場所として使える場所ということだそう。開業以来すでに水曜以外は13時から19時まで無料開放(年齢制限なし！予約不要)としている松本亭は、ピッタリな場所として白羽の矢が立ったのでした。

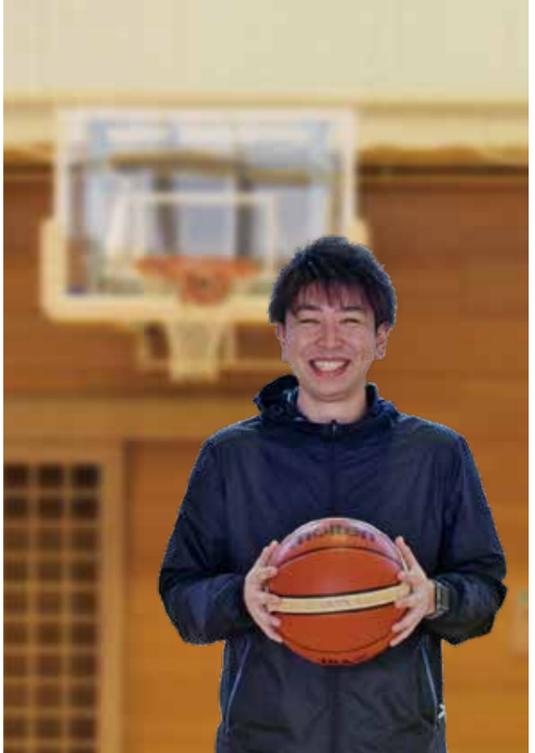
例えば僕がまだ大学生の頃、ゆるキャラの企画を朝日町に持ち込んだとき、町の方が自宅に泊めてくれたり、様々な人を紹介してくれました。大使なんて肩書きはなかったけれど、人と人をつなぐことで、活動するよそ者の僕の背中を押してくれた人が確かにいました。

神奈川から山形に引っ越して、10月でまる10年が過ぎ、あの時の自分のような若者を応援できる番が回ってきているのだと、嬉しく感じています。さすがにいきなり

ウサギの着ぐるみを持ち込む子は現れないとは思いますが、この町で何かチャレンジしたい、山形に住んでいることを誇れるような活動がしたい、そんな相談に全力で力を貸していきたいと思っています。



▶ホテルにてパソコン3台を使用して分析する今野さん  
▲FIBA女子アジアカップ2019で優勝し4連覇を達成した女子日本代表。今野さんは最前列右



## データを分析し日本代表を裏から支えるアナリスト

公益財団法人日本バスケットボール協会  
専任・情報スタッフ

今野 駿 さん(大町出身)



来年開催予定の東京オリンピック。この大会に出場するバスケットボール女子日本代表(愛称:アカツキファイブ)のスタッフとして携わっている町出身の方がいます。大町出身の今野駿さんです。小学校から大学までずっとバスケットを続け、現在もバスケットに携わっている今野さん。

大学4年までプレーヤーとしてやってきたのですが、卒業後は指導者を目指し、東京医療保健大学女子バスケットボール部のアシスタントコーチとして就職しました。そのバスケ部のヘッドコーチが日本のゲーム分析におけるパイオニアで、その方から女子日本代表のアナリストとして推薦していただき現在に至ります。

から、その大会で次に当たるチームの試合の分析もしていました。試合前も色々なところで練習ゲームをしているのでその対策を分析して試合直前の練習に修正したりもしています。パソコンのモニターも3つで仕事していました(笑)。

今回は日本代表のアナリストとなった経緯やそのお仕事についてお聞きします。

—アナリストとは

基本パソコンを使って試合の映像を見て統計をとり、その数字の中から気になったところと編集した映像を結び付け可視化するのが仕事です。例えば、相手チームが早い攻撃展開が多いとすると、その多い攻撃の中でどういった状況でどういう形の展開が多いのか、という分析をして選手やコーチ陣にベースとなる映像を渡して対策を練るという感じです。

—日本代表のアナリストになった経緯  
小学校2年生でミニバスを始めてから

—オリンピックに向けて

コロナ禍であるこの状況で開催されるかまだわからないところがありますが、日の丸を背負っているという自覚と責任を持ち自分のやるべきことやできることを精一杯やって、掲げている目標である金メダルに少しでも近づけるように自分の仕事を全うしていきたいです。

—町内の子どもたちへ

この仕事に就けて、好きなことを仕事にできたことは幸せなことなんだと感じます。バスケットに限らず1つのことにのめり込むことは悪いことではありません。今やりたいことがある子はより追及して、逆に無い子は小さなことでも始めてやり込んでいけば、自分の中で発見があるので思いっきりやってほしいですね。



## 町立図書館新刊案内

「煉獄の獅子たち」

深町 秋生 著



関東最大の暴力団・東鞘会で熾烈な跡目抗争が起きていた。ヤクザを心底憎む警視庁組対四課の我妻は、東鞘会を壊滅すべく非合法も「小説野性時代」連載を単行本化。著者は山辺町在住。

「サンタクロースっているの?」

—人生を肯定するまじし—  
いもと ようこ 絵・訳  
フランス・P・チャーチ 文



「サンタクロースっているの?」ほんとうのことをおしえてください! 1987年、ニューヨークのサン新聞に届いた、8歳の女の子からの手紙。サン新聞はそれによって返事をしたのでしょっか。世界が感動した名社説の絵本。

「その他の新刊」

- ▼浅草寺/北野武
- ▼いつの空にも星が出ていた/佐藤多佳子
- ▼きのこのオレンジ/藤岡陽子
- ▼とわの庭/小川糸
- ▼湖の女たち/吉田修一
- ▼夢七日夜を昼の國/いづみせいじ
- ▼エル下/林宏司
- ▼この気持ちもいつか忘れる/住野よる
- ▼野菜はあたためて食べる!/堤人美
- ▼ふたりでちよとど200%/町屋良平
- ▼肉体のジェンダーを笑うな/山崎ナオコ
- ▼江戸染まめ/青山文平
- ▼こんなときどうする? 選挙運動150問150答/関口慶太
- ▼相剋/笹本稜平
- ▼アンと愛情/坂本司
- ▼おしやれでつけ心地がよい決定版・手作り布マスク
- ▼目でみる数字/岡部敬史
- ▼水と磯/藤原無雨
- ▼復讐の協奏曲(コンチエルト)/中山七里
- ▼アンダーグラス/相場英雄
- ▼自分を励ます絵手紙 第4集/阿部良子 ほか



【ブックテマコーナー】  
~もっと楽しくすごそう!~  
クリスマス&もうすぐお正月

# 戸籍のまど

Asahi town

11月1日～11月30日届出

## Births

すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
大町	菅井唯暖	女	元基・彩

## Obituaries

やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
大沼	白田ムツエ	幸藏
大暮山太郎第一	小松あさよ	正明
松程	長岡キミ子	孝司
水本	菊地光	幸宏
大暮山	高橋きみよ	正巳
古大	長岡幸子	みき子
大	清野正男	あや子
大	柴田うめの	勝義

## Population

人口と世帯数

●令和2年 11月30日 現在  
※( )内は先月比

人口	6,567人 (-17)
男	3,252人 (-6)
女	3,315人 (-11)
世帯数	2,400世帯 (-4)

----- 11月中の異動 -----

出生	1人	転入	9人
死亡	10人	転出	17人

(※外国人を含む)

### お詫びと訂正

本誌の先月号(2020年11月号)に、下記のとおり誤りがありました。

お詫びして訂正いたします。

15頁まちレポ「あさひまち全力逃走鬼ごっこ」の本文2行目

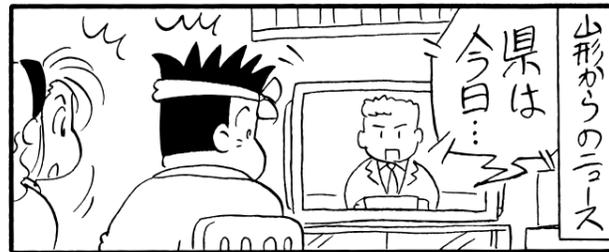
【誤】コロナ禍でも鬼ごっこがしたいという子どもたちの要望から(一社)希望活動醸成機構(阪野正義代表)内みんなの遊び場プロジェクトが企画。

【正】コロナ禍でも鬼ごっこがしたいという子どもたちの要望からみんなの遊び場プロジェクトとして保護者有志が企画して(一社)希望活動醸成機構(阪野正義代表)が支援。

# こないのリンゴさん

(328)

ホリイ



### 金婚賀詞伝達式

結婚50年の節目を迎えたご夫婦を対象とした金婚賀詞伝達式が11月14日、開発センターホールで行われました。今年金婚を迎えるのは昭和46年に結婚した13組のご夫婦。出席されたご夫婦へ鈴木町長から賀詞が手渡されました。出席者を代表して海野寛さん(大町)が「旅は道連れ世は情けと言いますが、夫婦はその最たるもので、まさに二人三脚の道連れだと感じています。これからも健康で夫婦仲よく地域づくりに寄与しながら朝日町の発展に貢献していきたい」と謝辞を述べました。



## この冬の健康管理について ~こころとからだの健康を守ろう~

【令和2年度 第9回】

今月の担当...木村 朋恵 主査兼保健医療係長



①こまめな手洗いを実践！  
ハンドソープやせっけんをつけて手をもみ洗いし、流水で流しましょう。アルコールによる手指消毒も有効です。  
②外出時はいつでもでもしっかりマスクをしましょう！  
マスクは鼻のワイヤー等で固定し、鼻とあごがしっかりと隠れるよう着用しましょう。  
※マウスシールドやフェイスシールドはマスクと同等の感染予防にはなりません。  
③人との距離は、1m以上空けましょう。(できれば2m)  
④換気をしましょう。  
風の流れができるよう2方向の窓を数分程度開けたり、換気扇を常時運転することで、も最低限の気流は確保できます。暖房器具を使用し、工夫をして換気を行いましょ。

▼健康福祉課 保健医療係  
※受診相談コールセンター  
☎0120-88-00006  
☎67-2116



⑤体調が悪いときは...  
発熱や咳、味覚障がい等の症状がある時は、軽い症状であっても、無理をしないで外出を控え、早めにかかりつけの医療機関に電話で相談しましょう。かかりつけの医療機関がない方や医療機関が休診の際は、受診相談コールセンター(※)に相談しましょう。  
⑥心の変化を感じたときは...  
生活の変化により、気持ち落ち込む、お酒の量が増えたりなどの相談もあります。一人で悩まず身近な方にご相談されたり、健康福祉課保健師等にご相談ください。

## 町全体が博物館！ 朝日町エコミュージアム サテライト散策



【一言メモ】例年11月上旬に「かぼちゃランタンで小人の村づくり」を主催し、夜には幻想的な光景を見ることができます(今年はコロナ禍により中止)。

## 第40回 ハチ蜜の森キャンドル

【DATA】宮宿から県道宮宿・白滝線に入り、立木地内の朝日川右岸、白倉橋のたもとにある。

昭和63年、日本で初めての蜜蝋キャンドル製造工房「ハチ蜜の森キャンドル」が立木にできました。蜂蜜を収穫する際の副産物であるミツバチの巣でキャンドル(ろうそく)を作り販売する工房です。

工房では、自然と人間のつながりを養蜂や蜜蝋をとおして知ることができる「ハチ蜜の森体験教室」をやっています。「蜜蝋キャンドル作り」や「ハンドクリーム作り」「ミツバチ観察」「灯りのワークショップ」「ハチのおうち作り」「蜜蝋や養蜂などのスライドショー」等の講座があり、出張しての「ケータリング体験教室」も行っています。

案内人のつぶやき

蜜ろうそくは油煙が出ず、点灯時間も長く、静かにやさしく光る地球にやさしい灯りなんだよ。使っている蜜蝋は山形県まじめ東北の養蜂家が収穫したものを仕入れており、ろうそくの他に「食ろう」としてお菓子やハンドクリームにも使える安全・安心なものなんだよ。





# 末吉良ベース WINTER FESTA



12月6日、元町地区に新たに誕生した「末吉良ベース」のお披露目式を兼ねたイベント「末吉良ベース WINTER FESTA」が開催されました。このイベントは「みんなの遊び場プロジェクト」が主催し、町20～40代有志で結成される「末吉良ボーイズ」が後援。末吉良ベースは、町内の子どもや若者、30～40代の子育て世代が集まる場所が町になかったことから整備されました。元大久保商店倉庫をリノベーションし、手づくりのスケートボードランプを使用した室内練習場や遊びのフリースペースとして11月から開放しています。当日はペンキを使ってシャッターアートを描くワークショップや大谷出身のプロスノーボーダー渡辺恭介さんと滑るスケボー体験、クリスマスソングの演奏などが行われ、賑やかで楽しい時間が流れていました。



▼地図はこちら



今月号の特集は土木のおしごとです。普段私は車を運転していて道路工事を見かけると、「おしごとお疲れ様です」と心の中でつぶやいているのですが、今回取材したことでより感謝の念が強くなりました。子どもへの頃に「パパがこの道路を作ったんだぞ」なんて言われたら間違いなく尊敬のまなざしを送るだろうと思います。ふと広報誌も形に残るなと思ひ、私に子どもが出来たら広報誌を見て尊敬の目で見てくれるのかなと疑問に思ったのでした。

## 春夏秋冬 編集後記

感謝の気持ちで  
いっぱいです

とある人気ゲームのキャラの出身地が朝日町という噂がありました。山形県のリング農家の娘としか情報が多かったのですが、10万人以上が視聴したネットの生放送で声優さんが朝日町に来てロケをして、特産品の良さを発信してくれたことで、ファンの方が町に直接来て宿泊したり、ふるさと納税をしてくれたりと強気にバックアップ。5年前にライブを見に西部ドームに行った人間としては衝撃でした。ファンみなさま、これからも朝日町をよろしくお願ひします。

鈴木 貴典